

一度死んでみた (2019)

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 93分
初公開日 2020/03/20
公開情報 松竹
映倫 G

【解説】

「海街diary」「ちはやふる」の広瀬すずが反抗期をこじらせたデスメタル女子を演じる痛快コメディ。製菓会社で働く大嫌いな父親が、ライバル会社の陰謀で仮死状態のまま火葬される危機を迎える中、父の秘書とともに父を生き返らせようと奔走するヒロインの姿を奇想天外かつハートフルに描く。共演は吉沢亮、堤真一。また、ほかにも驚きの豪華キャストが多数登場。ソフトバンク“白戸家”シリーズなどを手掛けるCMプランナーの澤本嘉光が脚本を担当し、au“三太郎”シリーズなどを手掛ける売れっ子CMディレクターの浜崎慎治が記念すべき長編映画監督デビューを飾った。

いまだ反抗期を引きずる女子大生の七瀬は、売れないデスメタルバンドのボーカル。ライブでは大嫌いな父・計への不満をぶちまけるように“一度死んでくれ!”と叫び続けていた。そんなある日、計が本当に死んだとの知らせが届く。それは、製菓会社社長の計がある計略のために新薬の“2日間だけ死んじゃう薬”を飲んだためで、実際には2日間の仮死状態にあったのだった。ところが、それに乗じてライバル会社が計を本当に火葬して殺してしまおうと動き出す。そこで七瀬は、存在感が無さすぎる計の秘書・松岡とともに、大嫌いなクソ親父を生き返らせるために立ち上がるのだったが…。

【クレジット】

監督	浜崎慎治
製作	大角正 石原隆
プロデューサー	吉田繁暁 松崎薫 永江智大 山邊博文
共同プロデューサー	中居雄太 岡田翔太
ラインプロデューサー	内山亮
脚本	澤本嘉光
撮影	近藤哲也
美術	小島伸介
衣装デザイン	細見佳代
編集	小池義幸
音楽	ヒャダイン
音楽プロデューサー	高石真美 大里和生
照明	溝口知

録音	反町憲人		
装飾	酒井拓磨		
スクリプター	栗原節子		
サウンドデザイン	浅梨なおこ		
ヘアメイク	外丸愛		
助監督	山下久義		
出演	広瀬すず		野畑七瀬
	吉沢亮		松岡卓
	堤真一		野畑計
	リリー・フランキー	Lily Franky	火野
	小澤征悦		渡部
	嶋田久作	Kyusaku Shimada	田辺
	木村多江		野畑百合子
	松田翔太		藤井さん
	加藤諒		オタク
	でんでん		ちゅ〜か地獄屋・店主
	柄本時生		野畑製薬社員
	前野朋哉		野畑製薬社員
	清水伸		野畑製薬社員
	西野七瀬		野畑製薬社員
	城田優		警備員
	原日出子		掃除のおばさん
	真壁刀義		田辺の手下
	本間朋晃		田辺の手下
	野口聡一		
	佐藤健		ボーイ
	池田エライザ	Elaiza Ikeda	あかね
	志尊淳		野畑製薬社員
	古田新太		計の元同僚
	大友康平		ジェームス布袋
	竹中直人		坊主
	妻夫木聡		クラウンホテル支配人